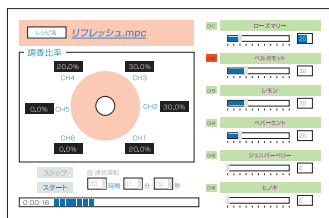


オリジナルレシピを友だちと交換

自分でつくった香りのレシピ。ひとりで楽しむだけではもったいない！ アロマジュールとLANのネットワークを組み合わせ、遠隔地から香りデータを配信するシステムをNTTコミュニケーションズが開発。提供サービスを開始した。友だち同士で香りのレシピの交換も可能。無限に広がる香りの世界をみんなで楽しもう。



Science Walker
Spring 2006

彼と楽しむ
癒やしの時間



透明な容器にアロマオイルを装填。ポンプより空気が送られ、香りを調節してくれる。画像提供・取材協力／ミラプロ、NTTコミュニケーションズ

香りがもたらす影響とは？ 気分に合わせてアロマを調合

彼も驚くはず！
アロマに押しよせるハイテク化

お部屋で彼と過ごすひととき。そんなときは癒やしの香りが必要不可欠だが、最近のアロマはひと味違う。なんとパソコンを使って、自動的に調合し、さまざまな香りを自分でつくることができるアロマ調合器が昨年発売。それがミラプロが開発を進めるアロマ調合器「アロマジュール」だ。まずは専用ソフトをインストールしたパソコンで、最大6種類のアロマオイルの比率を自分の好みで選び、USBケーブルでアロマジュールと接続。すると、電磁弁と呼ばれる開閉バルブが作動し、最大6種類のアロマオイルを自動的に調合してくれるのだ。アロマオイルの比率は1%単位で調節できるため、よりきめ細かい香りがつくれるうえ、自分だけのオリジナルの香りに仕上げることができる。

その日の体調や気分に合わせて香りを選んだりするけれど、本当に効果があるのだろうか。そもそも香りの感覚をつかさどるのは脳の大脳辺縁系と呼ばれる部分。ここは、感情や記憶と密接に関係しているところ。香りの成分をキャッチし、情報を電気信号で嗅覚神経を経て脳に伝え、香りを感知。脳ではその香りを好き・嫌い・判断し、心身に影響を与える仕組みだ。香りによって、その効能はさまざま。例えばラベンダーやカモミールはストレスの緩和に、オレンジやローズマリーはリフレッシュ効果があるとされている。気分に合わせて、香りのおもてなしをしてみてもいい？